

特許競争力ランキングの見方

2017年6月7日
工藤一郎国際特許事務所

特許競争力ランキングは、YKS技術業種分類内における企業の事業成長性を示す指標のランキングです。

分類別 会社 Y K 値ランキング、分類別 会社 Y K 値ランキング（上昇率）、分類別 会社 Y K 値ランキング（下落率）の 3 つ からなります。

(1) 分類別 会社 Y K 値ランキング

順位			証券コード	会社名	YK値	前回YK値	YK値変化率
今回	前回	変化				2016/06/末	(%)
1	1	-	4188	三菱ケミカルHD	456.00	484.34	-5.85
2	3	↑	6305	日立建機	134.16	108.81	23.30
3	4	↑	3431	宮地エンジニアリンググループ	97.24	99.87	-2.63

作成日：2017年5月31日
データ更新日：2016年12月末日

① ランキング作成日と資料に用いたデータ更新日。

② Y K S 技術業種分類。小分類コードと小分類名。

③ 当該小分類内での証券コードで示される企業の Y K 値順位。

今回：今回順位

前回：前回（6ヵ月前）順位

変化：今回順位と前回順位との変化を示し、

「↑」は順位上昇、「↓」は順位下降、「-」は順位変化なし、「new」は初登場をそれぞれ示す。

同一小分類に属する特許の全般が Y K 値を減らす傾向にある場合には、企業の同分類に属する特許の Y K 値の総和が減少していても順位が上昇する場合や、逆の場合がある。順位は同小分類内での企業の技術競争力の順位と解釈できる。

④ 証券コードと会社名

未上場企業には「未上場」と表記。会社名は「株式会社」の記載を省略。ホールディング 若しくは ホールディングス は「HD」と記載。

⑤ Y K 値

企業の同小分類内での技術競争力の絶対値を表す。小数点以下第二位まで、小数点以下第三位は四捨五入。

⑥ 前回 Y K 値

企業の同小分類内での前回（6ヵ月前）技術競争力の絶対値を表す。小数点以下第二位まで、小数点以下第三位は四捨五入。

⑦-1 Y K 値変化率 (%)

$$\{ (\text{今回 Y K 値} - \text{前回 Y K 値}) / \text{前回 Y K 値} \} \times 100\%$$

変化率が正の値である場合には企業の技術競争力が成長方向にあると解釈できる。

(2) 分類別 会社YK値 ランキング (上昇率)

(1) 分類別 会社 Y K 値 ランキング を基に、前回 Y K 値からポイントを上昇させた企業をリストアップしてランキング付けしたものです。

順位	証券コード	会社名	YK値	前回YK値 2016/06/末	YK値上昇率 (%)
1	5802	住友電気工業	19.73	6.24	216.19
2	3443	川田テクノロジーズ	44.61	15.30	191.57
3	1884	日本道路	0.87	0.37	135.14
4	7013	IHI	6.30	4.39	43.51
5	3407	旭化成	3.33	2.36	41.10
6	5105	東洋ゴム工業	3.61	2.79	29.39
7	6305	日立建機	134.16	108.81	23.30

① ランキング作成日 と 資料に用いたデータ更新日

② Y K S 技術業種分類。小分類コードと小分類名

③ 小分類内での証券コードで示される企業の Y K 値 上昇率 順位。順位は同小分類内での企業の技術競争力の成長力の順位と解釈できる。

④ 証券コードと会社名

未上場企業には「未上場」と表記。会社名は「株式会社」の記載を省略。ホールディング 若しくは ホールディングス は「HD」と記載。

⑤ Y K 値

企業の同小分類内での技術競争力の絶対値を表す。小数点以下第二位まで、小数点以下第三位は四捨五入。

⑥ 前回 Y K 値

企業の同小分類内での前回（6ヵ月前）技術競争力の絶対値を表す。小数点以下第二位まで、小数点以下第三位は四捨五入。

⑦-2 企業の前回 Y K 値と今回 Y K 値の上昇率 (%)

$$\{ (\text{今回 Y K 値} - \text{前回 Y K 値}) / \text{前回 Y K 値} \} \times 100 \%$$

上昇率が高いほど技術競争力が成長方向にあると解釈できる。

(3) 分類別 会社YK値ランキング（下落率）

(1) 分類別 会社 Y K 値 ランキング を基に、前回 Y K 値からポイントを下落させた企業をリストアップしてランキング付けしたものです。

0101R03 道路・橋		④	⑤	⑥	①
					作成日：2017年5月31日 データ更新日：2016年12月末日
② 順位	証券コード	会社名	YK値	前回YK値 2016/06/末	YK値下落率 (%)
1	5332	TOTO	1.24	18.75	-93.39
2	6282	オイレス工業	14.63	167.61	-91.27
3	6741	日本信号	1.82	15.39	-88.17
4	6306	日工	0.78	4.34	-82.03
5	5711	三菱マテリアル	11.49	41.25	-72.15
6	5101	横浜ゴム	2.06	6.38	-67.71

① ランキング作成日と資料に用いたデータ更新日。

② Y K S 技術業種分類 小分類コードと小分類名。

③ 当該小分類内での証券コードで示される企業の Y K 値下落率順位。順位は同小分類内での企業の技術競争力の衰退の順位と解釈できる。

④ 証券コードと会社名

未上場企業には「未上場」と表記。会社名は「株式会社」の記載を省略。ホールディング 若しくは ホールディングス は「HD」と記載。

⑤ Y K 値

企業の同小分類内での技術競争力の絶対値を表す。小数点以下第二位まで、小数点以下第三位は四捨五入。

⑥ 前回 Y K 値

企業の同小分類内での前回（6ヵ月前）技術競争力の絶対値を表す。小数点以下第二位まで、小数点以下第三位は四捨五入。

⑦-3 当該企業の前回 Y K 値と今回 Y K 値の下落率 (%)

$$\{ (\text{今回 Y K 値} - \text{前回 Y K 値}) / \text{前回 Y K 値} \} \times 100 \%$$

下落率が高いほど技術競争力が衰退方向にあると解釈できる。